第13回神奈川国際芸術フェスティバル コンテンポラリー・アーツ・シリーズ

スペイン国立ダンスカンパニー

ナチョ・ドゥアト

バッハへのオマージュ〈日本初演〉

～マルティプリシティ・静けさと虚ろさのかたち～

The 13th International Arts Festival in Kanagawa
Contemporary Arts Series

Nacho Duato

Compañía Nacional de Danza

Homage to J.S. Bach

Multiplicity. Forms of Silence and Emptiness

MINISTERIO DE CULTURA
ESPAÑA

神奈川県民ホール

第13回神奈川国際芸術フェスティバル コンテンポラリー・アーツ・シリーズ

ナチョ・ドゥアト
スペイン国立ダンスカンパニー
バッハへのオマージュ〈日本初演〉
～マルティプリシティ・静けさと虚ろさのかたち～

2007年2月3日(土)・2月4日(日)
神奈川県民ホール 大ホール

神奈川県民ホール

第13回神奈川国際芸術フェスティバルが、神奈川の文化芸術の拠点である神奈川県民ホールならびに県立音楽堂を会場に盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。

このフェスティバルは、神奈川から国際レベルの優れた芸術を発信することを目的として開催され、多くの県民の皆様に親しまれています。

本年は、「シリーズ・ウィーン」と題して、ウィーン・フィル奏者を中心に編成された「アンサンブル・ヴィエナ・コラージュ」の演奏会を皮切りに、「オペレッタ・ガラコンサート　金と銀」や、東京二期会によるオペレッタ「こうもり」が上演されます。また、イタリアの演出家キアラ・グイディさんによる新感覚の演劇「親指こぞう」や、スペインの気鋭の振付家ナチョ・ドゥアトさん率いるスペイン国立ダンスカンパニーの舞踊公演、「国際版画展」といった多彩な催しも予定されています。多くの皆様にご来場いただき、文化芸術の世界を心行くまで堪能していただければ幸いです。

近年、一人ひとりが心の豊かさを実感でき、生きがいを持って暮らすことのできる地域社会の実現が強く望まれており、文化芸術の振興はますます重要となっています。県といたしましても、誰もが身近なところで優れた文化芸術に親しむとともに、自らが主体的に文化芸術活動に参加できる環境づくりに積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

本フェスティバルのご成功と財団法人神奈川芸術文化財団のますますのご発展を心からお祈りいたします。



神奈川県知事

松沢成文

本日は、神奈川国際芸術フェスティバル　コンテンポラリー・アーツ・シリーズ　ナチョ・ドゥアト　スペイン国立ダンスカンパニー「バッハへのオマージュ」公演にご来場いただき、誠にありがとうございます。第13回を迎える神奈川国際芸術フェスティバルは、国内外の優れたアーティストによる舞台芸術、音楽、美術の多彩な表現をご紹介し、神奈川ならではの独自性のあるプログラムを展開しております。

本日の公演「バッハへのオマージュ」は、世界のバレエ界、ダンス界がいま最も注目するスペインのアーティスト、ナチョ・ドゥアトの振り付けによる作品で、彼が芸術監督をつとめるスペイン国立ダンスカンパニーによる日本初演作品です。クラシックバレエのテクニックをベースに、それを現代的な身体表現にまで昇華させ、オリジナルな世界を創造しているナチョ・ドゥアトの、そしてスペイン国立ダンスカンパニーの代表作です。

「バッハへのオマージュ」は、ナチョ・ドゥアトの感性、音楽性、構築性によって、J.S.バッハの多彩な音楽と身体表現とが見事に融合した作品です。第一部「マルティプリシティ」では、バッハのさまざまな音楽がコラージュされ、ダンスと調和して視覚的に浮かび上がります。一方、第二部「静けさと虚ろさのかたち」は、バッハの作品に顕著な死という主題を反映して内省的で精神的な雰囲気を漂わせています。

ナチョ・ドゥアトの際立った芸術性と構成力、スペイン国立ダンスカンパニーの優れた表現力が結晶したこの魅力的な作品を、どうぞお楽しみください。

最後に、今回の神奈川国際芸術フェスティバルの開催にお力添えをいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



©幸田森

財団法人神奈川芸術文化財団
芸術総監督
一柳慧

第13回神奈川国際芸術フェスティバル　コンテンポラリー・アーツ・シリーズ

スペイン国立ダンスカンパニー

バッハへのオマージュ

マルティプリシティ・静けさと虚ろさのかたち

2007年2月3日(土)18:00　2月4日(日)15:00
神奈川県民ホール大ホール

芸術監督　ナチョ・ドゥアト

振付　ナチョ・ドゥアト
音楽　ヨハン・セバスチャン・バッハ（コラージュ）
装置　ジャファル・アル・チャラビ（構想 ナチョ・ドゥアト）
衣裳　ナチョ・ドゥアト（協力 イスマエル・アズナール）
照明デザイン　ブラッド・フィールズ

1999年ヨーロッパ文化都市ワイマール市との共同制作
世界初演　1999年4月23日　ワイマール市フィアハウクションホール
プレヴュー　1999年4月9日　スペイン バリャドリッド市カルデロン劇場

日本側スタッフ
舞台監督　八木清市、舘山秀一（有限会社ニケステージワークス）
照明　足立恒、小熊悦子（有限会社インプレッション）
音響　島村孝（有限会社オルフェオ）
大道具　ステージ関谷
衣裳　池田明代
ヘアメイク　星野安子
通訳　中原薫、中原理恵、長竿会美

アソシエイト・プロデューサー　佐藤まいみ

主催　神奈川県民ホール
（神奈川県民ホールは、指定管理者である財団法人神奈川芸術文化財団が管理運営を行っています。）
後援　スペイン大使館

平成18年度文化庁芸術拠点形成事業

Nacho Duato

ナチョ・ドゥアト

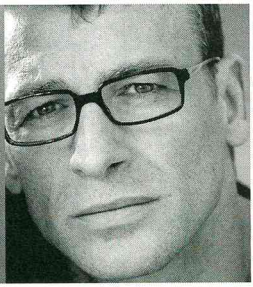


photo : Bernardo Doral

スペイン、バレンシア生まれ。18才の時、ロンドンのランバート・スクールで本格的にバレエを始め、ついでブリュッセルのモーリス・ベジャールのムードラ、ニューヨークのアルヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・センターで研鑽を積む。1980年、ストックホルムのクルベリー・バレエ団に入団。翌年、イリ・キリアンの招きでオランダのネザーランド・ダンス・シアター(NDT)に入団した。1987年VSCDゴールデン・ダンス・アワード受賞。振付家としても才能を開花させ、処女作『ジャルディ・タンカート』でケルン国際振付ワークショップ第1位。1988年NDTの専属振付家に就任。これまでに、クルベリー・バレエ、ネザーランド・ダンス・シアター、グラン・バレエ・カナディアン、ドイツ・オペラ座・バレエ、オーストラリア・バレエ、シュツットガルト・バレエ、グルベキアン・バレエ、フィンランド・オペラ座・バレエ、サンフランシスコ・バレエ、ロイヤル・バレエ、アメリカン・バレエ・シアターに作品を提供している。2006年11月、「ホワイト・ダークネス」がパリ・オペラ座のレパートリーとなった。
1995年、スペインのフランス大使館よりシュヴァリエ勲章を授与。1998年、スペイン政府より美術功労賞金賞を授与される。2000年4月、シュツットガルト・オペラにおいて、国際ダンス・アソシエーションより振付賞として世界でもっとも権威のあるブノワ・ド・ラ・ダンス賞を「バッハへのオマージュ～マルティプリシティ・静けさと虚ろさのかたち～」で受賞。2003年、ナショナル・ダンス・アワードの創作部門で受賞。
1990年7月、スペイン文化省の国立舞台芸術・音楽院に招聘されスペイン国立ダンスカンパニーの芸術監督に就任。

Compañía Nacional de Danza

スペイン国立ダンスカンパニー

1979年、スペイン国立ダンス・カンパニーは「スペイン国立クラシック・バレエ団」として設立される。初代ディレクターはヴィクトール・ウラーテ。1983年、マリア・デ・アヴィラ女史がディレクターに就任、スペイン在住の元アメリカ人ダンサー、振付家レイ・バーラが多くの振付を行い、その後1990年までアシスタント・ディレクターをつとめる。1987年12月、マイヤ・プリセツカヤがバレエ団の芸術監督に就任。
1990年ナチョ・ドゥアトがスペイン国立ダンスカンパニーの芸術監督に就任。クラシックを否定することなく、よりコンテンポラリーなスタイルを取り入れた個性的なバレエ団への革新的な変化を遂げる。
カンパニーのレパートリーには、世界的に評価されているこれまでの作品とともに新作を取り入れている。スペイン国立ダンスカンパニーは、世界の批評家の賞賛と様々な栄誉を受けている振付家ナチョ・ドゥアトともに高い評価を得ている。

スペイン国立ダンスカンパニー

芸術監督　ナチョ・ドゥアト

プリンシパル・ダンサー　秋山珠子、ルイサ・マリア・アリアス、アフリカ・グスマン、アナ・マリア・ロペス、ヨランダ・マルティン、スサナ・リアスエロ、アレハンドロ・アルヴァレス、ホセ・カルロス・ブランコ、スウィー・ブーン・キュイク、ディモ・キリロフ、ラファエル・リヴェロ

コール・ド・バレエ　リウ・バロッキ、ルシア・バルバディリョ、ステファニー・ダルフォンド、カヨコ・エヴァハート、アナ・テレサ・ゴンザガ、クリステル・オルナ、マリナ・ヒメネス、イネス・ペレイラ、ホセ・アルカイデ、ジェンティアン・ドゥダ、ファブリス・エデルマン、アマウリー・レブルン、フランシスコ・ロレンツォ、イサック・モントロール、マシュー・P・ルヴィエール、アントニオ・ルス、ジョエル・トレド、エクトール・トーレス

アーティスティック・コーディネーター　エルヴェ・パリト
レペティトール　ヨーコ・タイラ、トーマス・クレイン
ピアニスト　カルロス・ファクサス
ステージ・マネージャー　ホセ・アルヴァロ・コティリョ
フィジカル・セラピスト　ルイス・ガデア
マッサージ　マテオ・マルティン

マネージャー　カルメン・ボファルル

広報・プロモーション　マイテ・ヴィラヌエヴァ
広報アシスタント　ルイス・トマス・ヴァルガス、アデラ・グティエレス
制作　ソニア・サンチェス
制作アシスタント　フランシスコ・ハヴィエル・セラーノ、クリスティナ・ゴンザレス、ルイス・マルティン・オーヤ（ツアー制作）
アドミニストレーション　アイーダ・ペレス
アドミニストレーション・アシスタント　クリスティナ・サンチェス
スタッフ　ホセ・アントニオ・ベギリスタイン
メンテナンス　アナ・ガラン
技術監督　マルセロ・スアレス
技術監督助手　リカルド・ヴィルゴス
大道具　フランシスコ・パディラ、セザール・レクエンコ
照明　ルカス・ゴンザレス、ファン・カルロス・ガリャルド
音響　ヘスス・サントス、ペドロ・アルヴァロ
衣裳　アナ・ゲレーロ（衣裳チーフ）、ヴァレリアナ・ボン、サグラリオ・マルティン、カルメン・オルテガ
小道具　ホセ・ルイス・モーラ
倉庫　レジェス・サンチェス
コンシェルジュ　ミゲル・アンヘル・クルス、テレサ・モラト、フェデリコ・コルデロ

Compañía Nacional de Danza

MINISTERIO DE CULTURA
ESPAÑA

Artistic Director : Nacho Duato

Principal Dancers : Tamako Akiyama, Luisa María Arias, África Guzmán, Ana María López, Yolanda Martín, Susana Riazuelo, Alejandro Álvarez, José Carlos Blanco, Swee Boon Kuik, Dimo Kirilov, Rafael Rivero

Corps de Ballet : Liu Balocchi, Lucía Barbadillo, Stephanie Dalphond, Kayoko Evahart, Ana Tereza Gonzaga, Christelle Horna, Marina Jiménez, Inês Pereira, José Alcaide, Gentian Doda, Fabrice Edelmann, Amaury Lebrun, Francisco Lorenzo, Isaac Montllor, Mathieu P. Rouvière, Antonio Ruz, Joel Toledo, Héctor Torres

Artistic Coordinator : Hervé Palito
Répétiteurs : Yoko Taira, Thomas Klein
Pianist : Carlos Faxas
Stage Manager : José Álvaro Cotillo
Phisical Therapist : Luis Gadea
Masseur : Mateo Martín

Manager : Carmen Bofarull

Press and Promotion : Maite Villanueva
Assistants to Promotion : Luis Tomás Vargas, Adela Gutiérrez
Production : Sonia Sánchez
Assistants to Production : Francisco Javier Serrano, Cristina González, Luis Martín Oya (Production on Tour)
Administration : Aida Pérez
Assistant to Administration : Cristina Sánchez
Staff : José Antonio Beguiristáin
Maintenance : Ana Galán
Technical Director : Marcelo Suárez
Assistant to Technical Director : Ricardo Virgós
Stage Hands : Francisco Padilla, César Recuenco
Electricity : Lucas González, Juan Carlos Gallardo
Sound : Jesús Santos, Pedro Álvaro
Wardrobe : Ana Guerrero (Chef Wardrobe), Valeriana Bon, Sagrario Martín, Carmen Ortega
Properties : José Luis Mora
Storehouse : Reyes Sánchez
Concierges : Miguel Angel Cruz, Teresa Morató, Federico Cordero

ドゥアトにとってバッハとは何か

三浦雅士〈評論家〉

ドゥアトの作品にはじめて接したときの興奮はいまも忘れない。1992年11月13日、日生劇場。驚くが、もう15年も昔のことである。ドゥアトもまだ35歳だったわけだ。『カミング・トゥギャザー』『シナファイ』『アレナル』のトリプル・ビル。期待をはるかに上回っていた。あまりの素晴らしさに、その感動を少しでも伝えたくて楽屋を訪ねてしまった。圧倒的なパフォーマンスにもかかわらず、観客が少なく、盛り上がりもしなかったことに義憤を感じてもいたのである。楽屋を訪ねるなどということは、ふだんは決してしない。だが、このときはそんなことを言ってはいられなかった。圧倒された人間が、少なくとも一人はいたことだけでも伝えなければならないと思った。とくに『アレナル』が素晴らしかった。舞台から地中海の風が吹いてくるような、スペインの砂の大地の匂いにむせ返るような、素晴らしい作品。

その場でインタビューを取り、雑誌に掲載した。『ダンスマガジン』1993年2月号「地中海の風」。長い記事なので、あるいは時と所を改めたのかもしれないが、記憶ではその場でインタビューしたことになっている。いま読み返してみても興味深い。祖父が画家で、家族は画家になることを望んでいたこと、故郷のスペインの風土、17歳でロンドンに出てランバート・スクールに入学し、やがてムードラに移り、そこを出てからアメリカに渡り、アルビン・エイリーのもとで学んだこと、それからエックのクルベリー・バレエに参加し、その後にネザーランド・ダンス・シアターに入ったこと、ケースマイケルがムードラで一緒だったこと…語り方は若々しく、ノイマイヤー、キリアン、フォーサイスのこともずばずば言っている。とくに面白いのは、ベジャールやエックは演劇的だがキリアンは音楽的であってダンサーの個性はあまり関係がないと述べていることだ。キリアンにとって重要なのは音楽と肉体と動きだけ、自分も基本的に同じように考えるが、それをさらに発展させ、演劇的な要素も取り入れようと思う、と述べている。

あれからもう15年も経ったのだ。世界でも日本でもいろいろなことがあった。ドゥアトは『ロミオとジュリエット』そのほか、多くのバレエを作った。来日したマイヨーのモンテカルロ・バレエがドゥアトの『ナ・フローリスタ』を上演し、多くの観客を興奮させた。新国立バレエが『カミング・トゥギャザー』をレパートリーに加えた。古いレーザー・ディスクを引っ張り出して見ていたら、キリアンの『兵士の物語』に主演していたのがドゥアトだったことに気づいた、ドゥアトはたいへんな美青年だった…。

ドゥアトの舞台に興奮したのは、しかし、作品が素晴らしかったからだけではない。ノイマイヤー、キリアン、フォーサイスの後に続く若い才能が確実に存在することに安心したというか、大きな喜びを覚えたからである。

ディアギレフとともに20世紀バレエの誕生を告げたのがフォーキン、ニジンスキー、マシーン、ニジンスカであるとすれば、以後の20世紀バレエを担ったのは、ディアギレフ最後のコリオグラファーであるバランシン、そのバランシンと同じ1904年生まれのアシュトン、1909年生まれのチューダーの3人。その後に続くのが、彼らのほぼ20歳年下の世代で、1924年生まれのプティ、1927年生まれのベジャール、グリゴロヴィチ、クランコ、1929年生まれのマクミランの5人。そしてその後にさらに20歳年下の世代、

すなわち1942年生まれのノイマイヤー、1947年生まれのキリアン、1949年生まれのフォーサイスの3人が続く。クランコが率いたシュツットガルト・バレエの出身者として有名なこの3人に、1945年生まれのエックを加えれば、主要なコリオグラファーをほぼ網羅したことになる。『ジゼル』や『白鳥の湖』といった古典を除けば、バレエ界はいまもひたすら彼らの作品を上演し続けているのだ。若い才能の登場を願う思いたるや切だが、ナチョ・ドゥアトこそその才能にほかならなかったのである。

ドゥアトはキリアンらの世代のさらに10歳年下で、1957年生まれ。ベジャールのムードラに学び、キリアンのネザーランド・ダンス・シアターに入団し、やがて振付を始めて世界に認められた。言ってみればバレエ界の正嫡である。1990年以降、スペイン国立ダンスカンパニーの芸術監督。世界のバレエ団に新作を提供できるコリオグラファーが払底している現状を思えばまさに貴重である。ほかに注目すべきコリオグラファーとしては、ノイマイヤーのハンブルク・バレエに在籍し、1993年以後モンテカルロ・バレエの芸術監督として気を吐いている1960年生まれのジャン＝クリストフ・マイヨーがいる。いまのところ、21世紀のバレエ界を担う存在として折り紙を付けられるのは、ドゥアトとマイヨーの2人だけ。同じく1960年生まれのケースマイケルとボーンもいるが、バレエ界という感じではない。ドゥアトがキリアンの直系ならば、マイヨーはノイマイヤーの直系、ライバル関係が二代にわたって続いている。

この文脈にあらためて先ほど紹介したドゥアトの発言を置けば、興味深さが倍加する。見やすい図式をあえて導入すれば、舞踊の一方の極に音楽があり、他方の極に演劇がある。音楽の側にバランシンを置き、演劇の側にベジャールを置けば、キリアンはバランシンの側に傾き、ノイマイヤーはベジャールの側に傾く。注目すべきは、今後、ドゥアトとマイヨーがどのような位置で彼らの仕事を展開しようとしているかである。

ドゥアトは、ワイマール市に新作を委嘱された段階で、音楽としてまた主題としてバッハを選んだ。バッハはバロック音楽の大成者である。与えられた旋律をフーガであれ対位法であれ、技法を駆使してときに華麗、ときに荘厳な曲に仕上げる。ダンサーを音符にしてしまったバランシンに似ている。一方は音楽の、他方は舞踊の職人。だが、バッハは同時に古典派いや端的にいってロマン派音楽の嚆矢でもあったのだ。旋律をおざなりに弾いてはならない、歌詞の情緒にしたがって弾かなければならないと弟子に力説したのはバッハにほかならなかった。そうでなければメンデルスゾーンによって復活させられるはずもなかった。すなわち、バッハ自身、音楽のなかで、音と劇の葛藤に身を委ねていたのである。作曲こそしなかったが、バッハはつねにオペラ的なものに誘惑されていたのだ。

ドゥアトがバッハを選んだのは、おそらく、それが完成されているからではない。逆に、音と劇の甘美といっていい葛藤がそこに潜んでいるからである。そう考えると、ドゥアトのみならずバッハにさえ親近感が湧く。オマージュが捧げられた理由だろう。

『バッハへのオマージュ』に21世紀バレエの方向性を見ることができると言って誤りではない。

The International Arts Festival In Kanagawa

第13回 神奈川国際芸術フェスティバル

【後　援】 外務省／神奈川県教育委員会／横浜市市民活力推進局／(社)神奈川県商工会議所連合会／
神奈川新聞社／NHK横浜放送局／tvk

【協　賛】 株式会社浅岡装飾／学校法人岩崎学園／上野トランステック株式会社／株式会社ヴォートル／
株式会社NHKアート／NTT東日本／株式会社オーチュー／神奈川県信用保証協会／
神奈川県民共済生活協同組合／神奈川県理容生活衛生同業組合／株式会社神奈川孔文社／
株式会社神奈川保健事業社／神谷コーポレーション株式会社／川本工業株式会社／
かをり商事株式会社／株式会社キョウエイ装備／キリンビール株式会社横浜統括支社／
株式会社ケイエスピー／国際警備株式会社／生活協同組合コープかながわ／株式会社さが美／
相模鉄道株式会社／株式会社三晃空調／株式会社ジェイエムアンドカンパニー／
湘南信用金庫／株式会社スズゼン／鈴廣かまぼこ株式会社／生活クラブ生活協同組合／
株式会社清光社／設備メンテナンス株式会社／大栄電子株式会社／
大成建設株式会社横浜支店／タカナシ乳業株式会社／月島機械株式会社／株式会社テック
東京ガス株式会社神奈川支店／東京電力株式会社神奈川支店／東工株式会社／
東神工芸株式会社／ナイス株式会社／株式会社日建設計神奈川支所／日産自動車株式会社／
日本電気株式会社神奈川支社／株式会社野毛印刷社／
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社／
東日本キャタピラー三菱建機販売株式会社／株式会社日立製作所横浜支社／
不二音響株式会社／平安堂薬局／株式会社ホテル．ニューグランド／丸茂電機株式会社／
株式会社三木組／森平舞台機構株式会社／株式会社山武／株式会社有隣堂／
株式会社豊商会／株式会社横浜アーチスト／横浜エレベータ株式会社／
横浜新都市センター株式会社／横浜トヨペット株式会社／横浜ビルシステム株式会社／
株式会社ワイイーシーソリューションズ／和同建設株式会社

【協　力】 株式会社勝烈庵／神奈川トヨタ自動車株式会社／株式会社崎陽軒／
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社／サッポロビール株式会社／
JFEエンジニアリング株式会社神奈川支社／鈴廣かまぼこ株式会社／
株式会社東芝首都圏南支社／ナイス株式会社／日総ブレイン株式会社／
日本通運株式会社横浜中央支店／株式会社野毛印刷社／野村證券株式会社横浜支店／
三菱地所株式会社

【かながわアーツ倶楽部法人会員】

上野トランステック株式会社／株式会社ヴォートル／株式会社オーチュー／
株式会社神奈川新聞社／神奈川臨海鉄道株式会社／かをり商事株式会社／湘南信用金庫／
株式会社鈴廣蒲鉾本店／tvk／東工株式会社／奈良建設株式会社／株式会社野毛印刷社／
横浜信用金庫

（2007年1月20日現在）

The International Arts Festival In Kanagawa